



# 大倉協第七十三回通常総会

六月三日 於 大阪俱樂部

発行 大阪倉庫協会  
大阪 市 中央区 今橋  
2丁目3番21号(今橋藤浪ビル)  
編集 発行人 筑紫敬司  
<https://www.soukoweb.jp/>

会長 小野 孝則 氏

副会長 福西 康人 氏

同 岩本 保治 氏

同 山中 恵司 氏

大阪倉庫協会は去る六月三日(月)、第七十三回通常総会を大阪俱樂部で開催した。

当日は、来賓として近畿運輸局より川口局次長、交通政策部小野部長、同部竹森環境・物流課長補佐のご臨席を賜り、舩谷名誉理事をお迎えし、会員出席者九十八名が参加して行われた。

午後四時、筑紫常務理事から会員の総数百九十七社、本日の出席会員七十八社、委任状百八社を以って総会は有効に成立する旨の報告を行い、柴山会長の開会挨拶、永年会員表彰に続き議事に入った。

## 第一号議案

令和五年度事業報告承認の件

## 第二号議案

令和五年度収支決算並びに剰余金処分案承認の件

## 第三号議案

令和六年度事業計画案承認の件

## 第四号議案

令和六年度会費要領案承認の件

## 第五号議案

令和六年度収支予算案承認の件

## 第六号議案

役員任期満了につき改選の件

◆ ◆ ◆  
以上すべての議案は、いずれも原案通り承認された。

◆ ◆ ◆  
そのあと新役員による理事会が開催され、会長、副会長の互選が行われた結果、別掲の方々が各々選出された。

◆ ◆ ◆  
引き続き議事を再開し、理事会の結果報告を以って予定の議案すべての審議を終了し、小野新会長の挨拶、福西副会長の新任、岩本副会長の新任、山中副会長の新任の紹介挨拶があり、川口次長の祝辞を賜って、第七十三回通常総会は滞りなく終了した。

## ご挨拶

大阪倉庫協会会長

小野 孝則



三回通常総会は滞りなく終了した。引き続き懇親会に移り、大阪倉庫協会 福西副会長の乾杯ご発声により宴が催され、盛況の内に午後六時二十分に散会した。

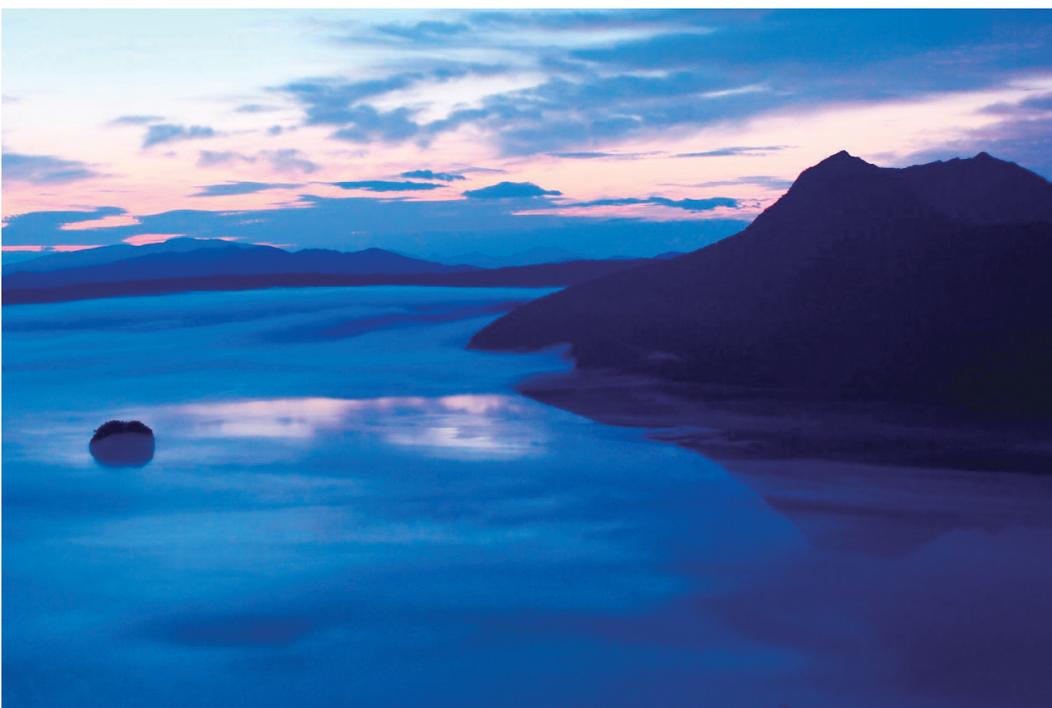
◆ ◆ ◆  
只今ご紹介戴きました住友倉庫の小野でございます。このたび皆様方のご推挙によりまして、大阪倉庫協会会長を務めさせて頂くこととなりました。当協会を取り巻く厳しい環境に思いをいたしますと、責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、協会の発展のため尽力してまいりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。また、本日、公務ご多端の折、ご来臨賜りました国土交通省近畿運輸局の川口次長様はじめ近畿運輸局ご当局の皆様におかれましてはよろしくご指導のほどお願ひ申し上げます。

◆ ◆ ◆  
本日、会長をご退任されました柴山前会長には四年間のご在任中、高いご見識と指導力により当協会発展のためご尽力いただきました。ここに改めて敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

◆ ◆ ◆  
新たに副会長に就任されました福西様、岩本様、山中様には、格別のご支

◆ ◆ ◆  
援を賜りたくどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
さて、今年度の協会の取組みでございますが、まず、本年四月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が始まり、「物流の二〇二四年問題」が現実のものとなっております。物流という社会インフラの一翼を担う

◆ ◆ ◆  
私ども倉庫事業者としましては物流を止めないための取り組みが求められるわけですが、先月五月十五日、物流総合効率化法の改正が公布されており、同法により、すべての倉庫事業者は、荷待ち時間等の短縮が努力義務として課されることとなります。詳細については引き続き情報の収集



北海道 霧の摩周湖 夏 松本邦雄氏撮影

を図るとともに皆様にタイムリーに提供してまいりたいと存じます。一方、実務面においては、運送事業者の負担軽減の一方で倉庫事業者にしわ寄せが生じることがないか懸念されております。倉庫事業者だけに負担が増えることがないように取り組んでまいりたいと存じます。

次に、開催が来年に迫りました「二〇二五年大阪・関西万博」への対応です。開催地である夢洲には大阪港の主要コンテナターミナルがございます。周辺で事業を行う私ども倉庫事業者としましては、万博による貨物量の増加とこれによる物流への影響が心配されますことから、私どもの担当する物流に支障が出ないように取り組んでまいりたいと存じます。

また、今朝も能登半島で震度五強の大きな地震が発生しておりますが、地震や年々激甚化する大雨等、防災への取り組みを進めるとともに、災害発生時の支援物資拠点として国・自治体との連携を深めてまいりたいと存じます。

これらに加えまして、人材の確保、育成も重要な課題であります。引き続き広報活動に取り組みますとともに、教育研修を充実させてまいりたいと存じます。

以上の主な取組みを通じまして、会員事業者様と大阪倉庫協会の発展の為に尽力してまいる所存でございます。近畿運輸局(当局並びに会員事業者の皆様)におかれましては、今後とも引き続きご指導・鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びとなりますが、ご出席の皆様のご繁栄とご発展を祈念申し上げます。簡単ではございますが会長就任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

大倉協第七十三回通常総会

祝 辞



国土交通省  
近畿運輸局 次長

川口 泉

ただいま、ご紹介にあずかりました近畿運輸局の川口でございます。本日、大阪倉庫協会定時総会が開催され、先程、全ての議事が滞りなく終了されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

柴山会長におかれましては、二〇二〇年六月に会長に就任されてから、四年にわたり業界の発展にご尽力なさいましたこと、心より敬意を表します。

また、協会の皆様方におかれましては、平素より国土交通行政に対して、格別のご理解とご協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の情勢ですが、このところ海外での国際紛争を原因として、海上輸送の停滞や、燃料費・資材の価格高騰など不安定な情勢が続いており、特に年明けから日本国内の為替が乱高下し、その都度輸出入を含む色々な業界にも大きな影響を与えております。

そのような中、働き方改革に関連する法律がこの四月より適用され、至るところで「物流の二〇二四年問

題」がトピックとして取り上げられており、色々なところで影響が出ています。政府としても昨年度から二つの物流革新パッケージを策定し、各省が連携して取り組んでおり、物流事業者や荷主企業におかれても少しずつ対応を進めていただいているところでございます。

労働力不足の問題もここ最近クローズアップされており、人口減少・労働者減少の傾向が止まらないことから今後も深刻化していく中で、物流産業が今後も発展するためには人材が非常に重要と認識しております。こういった状況下で、私共といたしましても優秀な人材が物流業界に関与していただくよう取り組んで参ります。

五月十五日に流通業務総合効率化法、いわゆる物効法の改正法が通常国会で公布されました。施行日は公布の日から一年以内から二年以内と少し先になりますが、倉庫業者を含む物流関連事業者や荷主企業におかれては、この法に基づいて物流効率化の促進に取り組んでいた

だくこととなります。そうしたなか、人手不足への対応、人材の育成として、貴協会では会員事業者を採用された新人社員向けの倉庫業務基礎研修、中堅社員向けの省力化・効率化を図るための研修を実施されており、また、災害対応につきましても、当局も参加させていたいただいております。貴協会主催の「防災担当者会議」を定期的に開催するなど、業界発展のため積極的に多様な取り組みを行っていただいておりますこと、お礼申し上げますとともに、引き続き継続的な取り組みとご協力をお願いいたします。

なお、政府においても、災害等に備えた非常用電源設備の導入や物流デジタルトランスフォーメーションの促進関係など、様々な支援策を準備しております。

また、物流のあり方が大きく見直される中、コストに見合った料金を如何に適正な形で收受できる環境を整えることが非常に重要です。物流事業者、荷主それぞれ単独では解決が困難な課題ですので、関係者が一体となって取り組む必要があると考えております。是非この機会に、適切な価格設定の定着に向けて粘り強い交渉を行っていただきますようお願いいたします。

物流は経済社会活動の基盤であり、その物流拠点である倉庫は重要な社会インフラであります。

一月一日に能登半島地震が発生して半年近くになりますが、災害発生の際には物流の確保は非常に重要な課題となりました。陸上運送だけでなく海上運送からも支援物資が届いた際、まずは保管場所の確保が必要であり、避難場所などへの輸送をどのように行うのか、ということも大きな課題となります。皆様がそのような形でも色々貢献できるかと考えております。今後も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

永年五十年会員 令和六年 永年会員表彰会

◆ 日栄倉庫株式会社

◆ 櫻島埠頭株式会社

◆ 金剛株式会社

結びにあたり、小野新会長の体制のもと大阪倉庫協会の益々のご発展並びに協会皆様様の事業のご繁栄と、本日ご出席の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和六年度大阪倉庫協会役員(令和六年七月一日現在)

Table listing association officers including President (住友倉庫), Vice President (エスケーロジ), and various department heads (e.g., 代表取締役社長, 代表取締役副社長) with their respective companies and names.

大阪倉庫協会員の異動

- List of personnel changes including '代表者変更' (Change of Representative) such as 山村ロジステイクス株式会社 and '代表取締役' (Representative Director) changes at various companies.

会社名変更

- 中貨物自動車株式会社 (前) 中貨物自動車株式会社 (新) 株式会社N.A.M.

住所変更

- 大信運輸倉庫株式会社 (新住所) 千五八〇〇一四 松原市岡一 一七六・一

近畿運輸局 人事異動(抜粋)

- 近畿運輸局長 日笠 弥三郎 氏
(前) 近畿運輸局長 (新) 国土交通省大臣官房付
(前) 国土交通省大臣官房付 (新) 国土交通省大臣官房付

近畿倉庫協会連合会 第五十三回通常総会

去る六月四日(火)、近畿倉庫協会連合会第五十三回通常総会が、午後四時からホテルグランヴィア大阪において開催された。当日は、来賓として近畿運輸局より川口局長、小野交通政策部長、酒井同部環境・物流課長の臨席を賜わり、日倉協から米田理事長、安達業務部課長をお迎えした。柴山会長から開会の挨拶の後、議事に入った。

- 第一号議案 令和五年度事業報告承認の件
- 第二号議案 令和五年度決算並びに剰余金処分(案)承認の件
- 第三号議案 令和六年度事業計画(案)承認の件
- 第四号議案 令和六年度会費要領(案)承認の件
- 第五号議案 令和六年度収支予算(案)承認の件
- 第六号議案 役員任期満了につき改選の件

議案はいずれも原案通り承認され、役員改選では新理事による会長、副会長審議の結果、会長には大阪倉庫協会長の小野孝則氏、副会長には京都倉庫協会長の角高修氏が選任された。審議終了後、川口近畿運輸局長、米田日倉協理事長の祝辞を賜り総会は滞りなく終了した。引き続き懇親会に移り、日倉協の米田理事長に乾杯のご発声を頂き、盛会の内に午後五時三十分散会した。

## 五月講演会

## 関西経済の現状について



日本銀行大阪支店 営業課長

## 一瀬 善孝氏

大阪倉庫協会では去る五月十五日(水)の例会終了後に講演会を開催した。一瀬氏は平成十三年に日銀入行後、調査統計局や金融機構局、企画局を歴任され、令和四年以降日本銀行大阪支店営業課長をされている。昨年に引き続き講演であり、以下は講演の概要である。

本日の講演は関西経済の現状について。最初に日本銀行と大阪支店の紹介、次に関西経済を取り巻く世界経済の話、続いて国内、関西経済の話、最後に大きな政策の見直しがこの三月にあった金融政策運営について講演していただいた。

まず日銀について。開業は一八八二年(明治十五年)。当時、民間の銀行が数多くあり、それらが紙幣を発行していた。一八七十年代後半の西南戦争では、戦費調達のため紙幣が大量に刷られた。時の明治政府は中央銀行として日本に紙幣をコントロールする機関を作ろうとなり、一八八二年に日本銀行が開業した。

次に、日銀大阪支店について。川に挟まれた大阪中之島は江戸時代から船による交通の利便性が高く、大名の蔵屋敷、いわば倉庫が立ち上がり、全

国の年貢米が集められた。そして、その米を換金するために、今の銀行に相当する両替商が多く集まるなどして繁栄した。明治初期に一時低迷する時期もあったが、多くの近代企業や銀行が設立され、大阪は経済的に重要な地域となった。日銀は、一八八二年十月に開業すると直ちに大阪に支店を設置しようと当時の財務大臣・松方正義氏に願ひ書を出した。その結果、僅か二か月後の十二月には大阪支店が開業した。場所は現在と違って、今の大阪俱樂部がある今橋であったが、業容の拡大とともに、今の三井住友銀行がある大川に移り、その後、郵便役所や五代友厚の私邸の跡地である淀屋橋の中之島に移って今に至る。初代大阪支店長は後に阪神電鉄の初代社長にもなった外山脩造氏。なお、日銀の設立当時に民間に出資を募った際、株主の数では東京が一番多いが、二位の大阪の後に滋賀・京都と続くなど、関西の方々に多く出資してもらっており、当地とは縁が深い。

日銀は日本銀行法で定められ、第一条で我が国の中央銀行として銀行券の発行と金融システムの安定を目的とし、第一条で物価の安定を通じて国

民経済の健全な発展に資することを理念としている。百円のパンが明日二百円になると安心してお金は使えないように、人々がお金を安心して使えるよう物価の価値を安定させることなどを目的として業務を遂行している。

業務の一つとして、銀行券についてお話しする。新しい銀行券が今年七月三日に発行される。二十年ぶりのことである。前回は二〇〇四年、その前が一九八四年と最近は二十年サイクルで実施しているが、二十年くらい経つと技術が陳腐化するため、偽札が作られやすくなる。偽造への耐性を高めていくためにも改刷は重要である。余談だが、二十年前の改刷の経験を持つ職員がまだ会社にいることは貴重だ。伊勢神宮の式年遷宮は何千年にもわたって二十年に一回行われるそうだが、技術の伝承の観点では二十年くらいのサイクルだと作業が円滑に進みやすい。なお、新五千円札の裏側のデザインはフジはノダフジと言って大阪市福島区の野田阪神駅あたりの地名が名前の由来になっており、大阪ゆかりのデザインとも言える。

本題の景気の話に移る。概論として、世界経済の成長率はここ四十年來にわたり平均三・四％で成長してきた。国際機関IMF(国際通貨基金)の見通しでは、二〇二三年から二六年まで毎年三・二％の成長が予想されている。これは過去の平均を少し下回るくらいであり、悪くはないが、はつきりとした成長が実感しづらい状況が続く、とも言える。

地域別にみていくと、米国は個人消費を中心に底堅く、比較的良好な状況が続いている。当初はコロナ禍からの挽回消費により景気が回復していたが、

近頃は雇用者数が着実に増えており、雇用環境の改善が消費を下支えする、息の長い景気回復となっている。一方で欧州は冴えない。コロナ終息後の回復もはば横ばいで、企業の資金需要が弱く、投資が進まない。欧米の各国は、二〇二二年後半からの十％近い物価上昇局面で、金利をゼロ％程度から五％程度にまで引上げる利上げを行った。その際、米国では景気は落ちなかったが、欧州では景気が弱めであり、経済力の差が出ている。最近では、欧州の物価も落ち着いてきているので、景気情勢を踏まえれば、いずれは利下げ局面に入るかもしれない。

次に関西との結びつきが強い中国である。長いトレンドでみれば六・七％くらいの成長率だが、最近では五％に届かない見通しで、全体として良いとはいえない状況。最大の理由は不動産の調整が続いていること。その中で失業も増えており、特に十六・二十四歳の若年層の失業率が高まるなど、景気が良くない。景気があまりよくない中で、中国は世界の工場たらしめて生産を続けており、最近では作り過ぎの気配がある。EVなど自動車は比較的に売れているが、その他在庫が積みあがってきている。国内の在庫を輸出で捌こうとするが、結果的に価格が下がりが安価で売りに出すこととなって、

ありがたくなかた海外へ波及していく。そのため日本の製造業者は中国からの過剰生産ともいえる製品販売によってシェアを奪われる懸念があることも否定できない。

この他、地域面でなく、産業界からの話題として、関西との結びつきが強いIT関連産業、具体的には半導体とか電子部品について触れる。コロナ禍で世界経済が停滞する中、巣籠り需要

やデジタル化の進展などから、半導体の出荷など、IT関連事業が大きく伸びた。それが一巡して二〇二三年頃から調整局面に入っているが、この調整がいつ終わるかわからないとせず、二〇二三年後半から漸く回復の方向に少しあるかなという流れだ。ただし、その回復にも偏りがあるように見え、生成AIなどAI関連企業は順調だが、それ以外の業種の回復が思わしくなく、IT関連産業のすべてが良くなっている状況ではないようである。

次に日本国内の話に移る。コロナの落ち込みから回復してきて米国ほどの強さはないが右肩上がりとなり、企業の景気感もゼロを上回った。非製造業はインバウンドの復活のほか、挽回需要の恩恵を享受している状況。ただ、製造業は世界の景気がもうひとつ伸び悩み、結びつきの強い中国が悪くてITも良くない。四月の日銀大阪支店による関西の景気判断では、景気は緩やかに持ち直しているが一部に弱さが目立つとしており、内訳を少し詳しく見ていくと、生産では、二〇二三年の終わりから二四年初頭に急激な減少がみられている。輸送機器で一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が関西、ひいては全国に大きな影響をもたらしている。ただし、これは一時的なものであるから、時間の経過によって戻ってくる見通し。今後長びく影響として懸念するのが世界的なIT関連の調整であり、中国向け輸出の弱さである。生産面では電子部品、デバイスが二〇二二年終わりくらいからずっと弱く、なかなか回復しない。

財別には電気機器産業の輸出が弱く、地域別には中国向け、NIEs向けの輸出が弱くなっている。景気の良い米

国向けは調子よいが、ドイツ中心に景

況が良くない

気がよくない欧州は落ち込んでいる。すなわち、製造業では、生産や輸出などの数量の数字はあまり良くないと状況。ただし、短観調査などでみると、経常利益は高い水準となっている。これは、値上げや為替の円安が影響している。また、経常利益が高い水準にあるもので、企業の設備投資計画については、来年以降もしっかり続く傾向になっている。

設備投資は、将来の成長にもつながるため、重要である。関西企業では、製造業でEVやAIにライフサイエンスとか、非製造業でも省人化・効率化やデータセンター・物流施設であるとか、インバウンドでホテルなど、しっかりと投資計画が示されている。国土強靱化や万博の影響もあって公共投資も強い。こうした設備投資や公共投資は関西の景気を下支えしている。個人消費については、値上げの影響を受けつつも底堅く推移している。値上げで影響が出やすいスーパー等が落ち込んでいないほか、外食来客数も徐々に回復してきており、宿泊や旅行関連もよい。インドバウンド需要は、中国からは国内景気の影響であり、回復していないが、韓国とアジアあるいは欧州の旅行者はコロナ前を上回っている。百貨店免税売上高やインバウンド消費を見ても全体数や消費額ですではしっかりと上回っている。

雇用環境では企業の人出不足感が非製造業を中心に強まっている。雇用者数も改善し、今春闘での賃上げ率は大阪府で定昇含めて五・六・五、全国でも五・二・五と何十年ぶりの高さになっており、今後、個人の所得が増加することが期待できる。この間、企業の倒産が増えてきてもおり、貸出金利ゼロなどコロナ禍で各種優遇保証

があった支援が終わり、経済が本格化しても、うまくいかずに事業をあきらめる企業が今後も出てくるかもしれない。こまごまとを総括すると、全体として中国向けやIT関連などで懸念はあるが、企業の収益や設備投資が好調で個人消費も家計もよく、緩やかに経済は持ち直している方向といえる。

次に、金融政策の話に移る。今年の三月十九日金融政策決定会合にて日銀は金融政策の枠組みを見直すこととした。最近のデータや聞き取り情報などから賃金と物価の好循環に関する状況を確認し、日銀が目指してきた、持続的・安定的に物価二%を実現する世界を見通すことができたこと判断して、今までの大規模な金融緩和を見直した。過去を少し振り返ると、日本はバブル崩壊後の九十年代に景気が悪くなり、伝統的な金融政策で金利を下げた。繰り返しの金利を下げた結果、一九九八年頃には短期金利は概ねゼロになった。この短期金利は、個人が銀行に借りる金利、銀行に預ける金利、住宅ローン借りるときの金利などの基準となるものである。

ゼロ金利に到達した中で次に何ができるかを考え、量的緩和政策や包括的な金融緩和策など、様々な金融緩和策を講じてきた。幾つかを紹介すると、まず一つ目に短期金利の更なる引き下げがある。金融機関などから厳しい意見を受けたが、マイナス金利を導入した。二つ目が短期金利だけでなく、長期金利を引き下げようと、十年物国債金利をゼロとする目標を掲げた。三つ目がその長期金利を下げることも関係するが、長期金利の基準となる国債を大規模に購入した。四つ目は、これらリスクフリー金利にとどまらず、企業が実際の資金調達の際に直面

するコマーションペーパーや社債金利を下げる取り組みを実施した。最後の五つ目はETF、大胆に言えば株式の購入である。リスクプレミアムに働きかけ、企業の円滑な資金調達につながるということとで実施したもので、三十兆円を超える規模となった。

こうした金融政策をこの三月に見直し、言わば普通の金融政策運営を行うこととなった。具体的には短期金利をプラス〇・〇・一%に戻し、長期金利は目標を立てず、国債は当面はこれまでと同程度に、CPI・社債の買い入れは減らして一年後に終了、株の買い入れは終了した。短期金利だけを操作対象とする点で、伝統的な政策に戻したともいえる。

金融政策転換の鍵となるのが物価の見直しである。日銀の使命は物価の安定であり、消費者物価指数(CPI)の前年比が持続的・安定的に二%となることを目標としている。その際、物価上昇の背景も重要であり、我々は「第一の力」「第二の力」と呼んで説明している。第一の力は原油や小麦など輸入物価を起点としたコスト上昇圧力が国内価格を押し上げる力のことである。第二の力は賃金と物価の好循環による物価の上昇である。景気が改善するも、労働需給の引き締めまりなどを背景に、賃金と物価が相互に連関しながら伸び率を高めていく力である。第一の力は起点となる輸入物価上昇が止まれば次第に和らいでいく、一時的な性質のものであり、実際、このところ収まってきている。

金融政策にとってより重要であるのが「第二の力」であり、物価や賃金に関する指標や、様々な計量的な分析や、企業の皆様からのヒアリング情報などに基づいて総合的に判断すると、こ

の力が強まってきていることが示唆される。先行きも、二%の持続的・安定的な物価安定の目標が実現してくることが見通せる状況に至ったと判断し、金融政策の枠組みの見直しに踏み切った。

枠組みを見直した後の金利の動向をみると、短期金利はマイナスから若干のプラスに上昇した。十年金利は〇・八・〇・九%ほどにまで上がった。銀行が企業に貸し出す際の基準の一つである短期プライムレートは殆ど変わっていない。住宅ローンの金利でも変動金利は変わらず、固定金利が上がってきている。長く低金利を続けてきた中で、金利を上げることがど

れくらの影響を企業や経済に及ぼすのか、これは不確実性があり、よく見極めていく必要がある。貸出金利が上がることは企業の皆様の資金調達に対して様々な負担を及ぼしうる。一%金利が上がっても大丈夫という方もいれば、原材料が上がって人件費も上がった上に調達金利まで上がったらやっつけいけないという企業もあるかと思う。いろんな方面の声を聴きながら、金融政策を運営していくことが重要であり、日銀大阪支店としても皆様の声をしっかりと聴くことを心掛けていきたいとし、話を締め括られた。



### 高倉神社「倉暉祭」を斎行

倉庫業の守護神である高倉神社(三重県伊賀市西高倉)の倉暉祭が恒例の七月十三日(土)、多数の倉庫関係者、地元氏子の皆様が参列され執り行われた。

当日は何とか雨にたたられず、当協会からは、小野会長、岩本副会長・山中副会長、筑紫常務理事四名が参列した。

また、日本倉庫協会の米田理事長をはじめ、静岡県倉庫協会、東海倉庫協会、滋賀県倉庫協会他、多数の皆様が参列され、真に倉庫の暉(かがやき)を祈る神事にふさわしく盛大に斎行された。



儀式は、本殿にて倉庫業界の繁栄を祝う祝詞を奏し、雅楽「納曾利」(なそり)が奉納され、参列者全員が玉串を奉奠した。続いて、神殿脇の倉庫業界建立の鎮魂碑前で業界諸先輩の霊に拝礼して神事は終了した。

# 海の月間



帆送中の海王丸

海の恩恵に感謝するとともに海洋国日本の繁栄を願う日として平成八年七月二十日から「海の日」が国民の祝日となっているが、平成十三年六月「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」の成立により、平成十五年から「海の日」は七月の第三月曜日となつて三連休化された。

これを契機として、国土交通省では七月を「海の月間」とするとともに、官民一体となつてより活発な活動や事業展開を実現すべく、「海の月間」推進委員会を設置している。

また、平成十九年七月二十日、我が国の海洋に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした「海洋基本法」が施行され、五年毎に「海洋基本計画」が閣議決定されている。この「海洋基本法」では、国及び地方公共団体は、「海の日」において、国民の間に広く海洋についての理解と

関心を深めるような行事が実施されるよう努めなければならないと規定されている。

大阪地区では、国の関係出先機関、関係地方公共団体、海事関係団体、観光関係団体等三十三団体で組織する「海の月間実行委員会」において、各団体が連携し「海の月間」の期間を中心に六月から十一月の間において諸行事を展開することにより、「海の日」の意義を幅広く国民のみならず、理解いただくとともに海事思想の普及に努めることとしている。

例年「海の日」を祝う行事として、多年海事関係事業に貢献された功績により近畿運輸局長から海事関係者に表彰が行われる。今年七月二十三日(火)に「ホテルプリムローズ大阪」で表彰式、祝賀会が開催された。

当協会関係の受表彰者は別掲の方々です。

## 令和六年 「海事関係功労者」 表彰の方々

祝「海の日」7月15日

### 近畿運輸局長表彰

- 事業功労 (倉庫関係)
- 北井 利一氏 (大阪倉庫)

## ● 永年勤続 (倉庫関係)

- 坂本 吉弘氏 (大阪港埠頭ターミナル)
- 吉井 浩氏 (大日本倉庫)
- 河原 淳一氏 (谷川運輸倉庫)
- 道幸 健一氏 (住友倉庫)

## 社員研修会開催

新入社員研修会

四月二十二日(木)  
於 協会の会議室

新入社員研修会は、毎年新入社員を対象として開催されており、来客応対やビジネススマナーの如何が会社の印象を左右することを十分認識し、来客接待や電話応対の基本や正しい敬語の使い方等、企業人としての心構えを勉強していただくための研修会である。

本年度も京都、滋賀県、和歌山県倉庫協会との合同により四月二十二日(木)当協会会議室にて開催され、十九社二十六名男性十四名、女性十二名が参加した。

午前九時三十分、筑紫常務理事の挨拶に続き、(株)日本経営協会総合研究所の櫻井悦子講師による講義、実施指導が昼食、休憩をはさんで午後四時半まで行われた。

講義の間に、実技と演習を交え、参加者一人ひとりに対して懇切丁寧

に、挨拶の仕方、報告の仕方、発声練習まで時として厳しい指導で進められ、密度の高い内容であった。

研修概要は次の通りである。

- 一、社会人としての基本
- 二、ビジネススマナーの基本
- 三、社会人としての言葉遣い
- 四、電話応対の基本
- 五、来客応対の基本
- 六、訪問マナー
- 七、ビジネスコミュニケーション
- 八、仕事の進め方
- 九、職場のマナー
- 十、良いスタートをしよう

### 講師

(株)日本経営協会総合研究所  
櫻井悦子氏



## 倉庫業務基礎研修

四月二十五日(木)  
於 協会の会議室

大阪倉庫協会研修委員会は、四月研修会として、日倉協の令和六年度研修プログラムから「倉庫業務基礎研修」を開催した。

この研修会では、会員各社における新入社員をはじめ倉庫業務初任者を対象に、倉庫業務の基本から、受託・入庫・保管・出庫業務、料金の計算方法等に必要となる倉庫業務の基礎知識の習得を目標としている。

参加者は四十四名、研修終了後受講済証が手渡された。

講義内容は次のとおり。

- 一、倉庫業とは
    - ・倉庫業者とは
    - ・倉庫の種類
    - ・営業倉庫の機能
    - ・営業倉庫としてのメリット
  - 二、倉庫業務とは
    - ・受託業務
    - ・入庫業務
    - ・保管業務
    - ・出庫業務
  - 三、倉庫寄託約款とは
    - ・倉庫寄託約款の重点事項抜粋
- 説明
- 四、倉庫の諸料金
    - ・保険料・荷役料とは
    - ・例題による保管料・荷役料計算
  - 五、質疑・応答等

### 講師

GINZAコンサルティング(株)  
山崎 敬司氏

### 若手社員研修会

五月九日(木)  
於 大阪科学技術センター

若手社員研修会は、会員各社の将来を担う方々に倉庫業の基礎を学習していただくための企画で、入社二～三年目の社員を中心に五月九日(木)大阪科学技術センターにて開催された。

この研修会は、京都、滋賀県、奈良県、和歌山県倉庫協会との共催。午後一時三十分から開催され、主催者を代表して星野研修委員会委員長の挨拶の後、研修委員会の委員会社から選出いただいた講師により、「倉庫業の実務について」、「契約の基礎について」、「経理の基礎について」の講義が行われた。



参加者は七十八名、最後まで熱心に聞き入っていた。

#### 講師

- ①倉庫業法
  - ②入庫(寄託の引受)と保管
  - ③出庫
  - ④火災保険
  - ⑤倉庫管理主任者
- 三菱倉庫株式会社  
茨木第二営業所 所長  
岩崎 正晃氏

#### 二、契約の基礎について

- ①契約とは
- ②倉庫業務における契約
- ③契約書作成上のポイント
- ④まとめ

#### 講師

株式会社住友倉庫 兼 業務課長  
業務部次長 齊藤 生文氏

#### 三、経理の基礎について

- ①経理部とは
- ②決算とは
- ③勘定科目とは
- ④貸借対照表と損益計算書
- ⑤資産と負債
- ⑥実際の企業の貸借対照表(イメージ視覚化)

#### 講師

谷川運輸倉庫株式会社 兼 業務課長  
管理本部経理部 田中 聡氏

### 中堅社員研修会

六月六日(木)  
於 大阪科学技術センター

大阪倉庫協会研修委員会は、中堅社員を対象としたソリューション営業研修 中級編④提案書作成基礎演習を開催した。

この研修では、ソリューション営業の基本として、物流センターの最適立地提案とセンター内最適レイアウト、効率的なWMS(倉庫管理システム)の設計まで、事例に基づく演習方式で、基礎から提案書作成を学んでいただく内容となっている。

この研修会は、京都、滋賀、奈良、和歌山県倉庫協会との共催。参加者は八十一名、研修終了後受講済証が手渡された。

#### 一、事例による提案書作成演習

- ①トンキロによる配送コスト・シミュレーション
- ②倉庫内レイアウトの基本と面積算出
- ③トータルコスト・シミュレーション
- ④事務処理効率化とWMSフローの作成

#### 講師

二、まとめと質疑応答  
山田経営コンサルティング事務所 代表 山田 健氏

### 倉庫業安全実務講習会

六月二十七日(木)  
於 協会会議室

大阪倉庫協会では、労働災害防止の徹底を目的に安全実務講習会を開

### 物流ひとくちメモ

#### トラック予約システムについて

本年二月十三日に政府閣議決定された「流通業務総合効率化法」と「貨物自動車運送事業法」の所謂「物流関連二法改正」に次いで「二〇三〇年度に向けた政府の中長期計画」が策定され、倉庫業を営む我々に改めて義務が明文化された状況である。その義務とは簡単に、ドライバーの荷待ち時間削減と積載率の向上に取り組むことであるが、以前からの問題で目新しい事項でもない。但し行政の動きが活性化する中、対応には待ったなしとなった。

催した。この講習会では、関係法令を含めた安全管理全般についての講義に加え、最新の安全管理手法について討議を行うなど、現場第一線の管理監督者にとって欠かすことのできない、安全管理の知識を習得していただく内容となっている。

参加者は三十六名  
.....  
講義内容は次の通りである

#### 一、倉庫業における安全管理の進め方

- ①安全衛生管理体制、管理組織
- ②安全管理の業務、倉庫管理主任者の責務、安全衛生管理全般

#### 二、関係法令と災害事例

- ①労働安全衛生法の重要なポイント
- ②倉庫業における災害事例の解説
- ③、リスクアセスメントの概要について

#### 講師

株式会社NX総合研究所 専任講師 井口 雅夫氏

- ①現場にどのような危険が潜んでいるかを受講者自ら予測する
  - ②危険性を事前に回避するための安全管理手法(リスクアセスメント)について学ぶ
- 四、リスクアセスメント演習  
(グループ討議)

①六から七名の小グループ別に分かれて討議しその内容を相互に発表する。

②聞いた受講者全員がさらに討議を行い、最後に講師がコメントする。

成され、運送業者側の早期予約化であれ、双方がシステムを理解し活用しだした経緯があるのではなからうか。

トラック予約システム自体はまだまだ歴史の浅い仕組みだが、ほとんどはクラウド型であるため日々更新しアップデートされている。その仕組みを物流業の我々が率先し活用することで、問題への解決に向かって行けるのではなからうか。新しい取り組みには労力を伴うが、本来の目的を忘れず良いビジョンを維持することが重要であると思う。

(川西倉庫(株) 大阪支店 大東 武史氏寄稿)

私の余技

この度は、歴史ある大阪倉庫協会機関紙「蒼光」への寄稿の機会を賜り、大変光栄に存じます。

今回私の余技という表題にて、改めて「余技」という言葉について調べてみると「専門以外に身につけた芸芸／その人の専門でない方面の技芸。たしなみ。」とありました。そこで私自身の余技について少々考えたのですが、特に極めた芸芸もなく、また、誇れる特技・趣味もなく、強いて言うならば、365日毎晩欠かさずお酒を嗜むことだけであり、お恥ずかしい限りであります。(時に「たしなむ」程度ではなく羽目を外すことも多々あり反省が絶えません。)

こんな私ですが、唯一学生時代に真面目に取り組んだのは「野球」でした。幼少期の少年野球から始まり、高校・大学と勉学には何ら誇れるものはありませんでしたが、それが唯一真剣に取り組んだものであります。

私は愛知県出身ですが、関西に転勤となり高校球児の憧れ「甲子園」を身近に感じられる生活を楽しんでおります。甲子園球場は連綿と続く高校野球の聖地と呼ばれ、春の甲子園(選抜高等学校野球大会)と夏の甲子園(全国高等学校野球選手権大会)として年2回の熱戦が繰り広げられ、私も毎年楽しみに見ております。ちなみに、春の選抜高等学校野球大会の第一回が開催されたのは、甲子園球場ではなく、私の出身地である愛知県の山本球場(八事球場)でした。現在球場は閉鎖(撤去)され、球場跡地に「センバツ発祥の地」のモニュメントが設置されています。

甲子園球場が完成したのは一九二

四(大正十三年)であり、今年が開場百周年を迎えます。この年は暦の干支を構成する「十干」と「十二支」それぞれの最初である「甲(きのえ)」と「子(ね)」が六十年ぶりに合わる縁起の良い年ということにちなみ、この付近一帯を「甲子園」と名付け、また、野球場を「甲子園球場(当時は甲子園大運動場)」と名付けました。甲子園球場と言えば、外壁を覆い尽くす「ツタ」が印象的でした。私はあのツタに覆われ壮麗にそびえ立つ球場

甲子園のツタの苗木が贈呈され、そのうち育成状態の良いものを「ツタの里帰り」として球場に戻す計画が進められ、二〇〇九(平成二十二年)に再植樹が完了しました。それ以来、十年以上が経過していますが、現在も外壁に沿って順調にツタを伸ばしており、早くあの壮大な景観が甲子園の歴史の一部として再現されることを期待しています。

甲子園の歴史を振り返ると同時に、私自身の学生(野球)生活を思いな世界でした。すべてを気合という言葉で一括りにし物事を進行させ、今思うと技術の向上よりも、ただただ精神力(根性)だけが養われたものと感じます。これは余談となりますが、私の苦しい思い出の一部である初めての酒宴の席のお話をします。当時、私たちの時代の飲み会の席では、下級生は「一気飲み」でしかお酒を飲むことが許されず、飲んで吐き、それを繰り返す世界でした。そのような酒席の最後に、上級生がお茶漬けを注文してくれ

注文してくれるのはありがたいことでした。しかし、鮭茶漬けを希望した者には、熱燗と白米が振る舞われ、そのどんぶり(ご飯)に熱々の日本酒が注がれ、それを一気に食べることとなります。当然のように皆一斉に嘔き出しますが、私もそのうち一人であり、あれ以来、大学を卒業してから三十余年、私は居酒屋で一度も「鮭サケ茶漬け」を注文したことがありません。

私の余技

続 255

ケイヒン株式会社

関西営業部 関西営業部長

徳久 幸治



の景観に、他のどの球場にもない甲子園球場独特の存在感を感じていました。しかし、現在の球場外壁のツタは、二〇〇六(平成十八)年から始まった球場のリニューアル工事に伴い一旦伐採されましたが、「歴史と伝統の継承」をコンセプトに「ツタの再生」というプロジェクトが進められました。再植樹にあたり、二〇〇〇(平成十二)年の夏に二十世紀最後の選手権大会を記念して全国の高校に

返すと、現代社会では理解しきれない「極めて理不尽な世界を至極当たり前な世界」として日々過ごしていたことが思い出されます。頭髪は何の疑問も持たず当然のように五厘刈りで年中を過ごし、炎天下のなか朝から晩まで練習するも水は一切飲ませてもらえず、ミス(失策・凡打など)をしたら愛の鞭と理解しますが鉄拳制裁を受け、なぜか「ありがとう」が「ごさいます」と感謝の言葉を述べる異様

ついで先日、前述の「極めて理不尽な世界を至極当たり前な世界」としてともに過ごした野球部の同期の集まりがありました。卒業後はオリンピックの年に集まることとしていたのですが、近年の新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い久しぶりの再

会でした。時の流れとともに、昔の面影を微かに残すだけの容姿を互いに笑い、そして、話題が遊びのことから子供の話に変わり、今では健康診断の結果や病氣自慢に移っていることから年を重ねたのだと実感しており、しかしながら、姿形は変わるものの、会話はいつも同じ話(ともに過ごした極めて理不尽な世界での出来事)で笑っているように思います。私が過ごした極めて理不尽な世界は、現代の令和の時代にふさわしくない昭和の価値観による話であり、決して肯定されるものではありません。しかし、現代社会においてテレワークの導入やリモート会議が主流となり、対面でのコミュニケーションが少なくなる中、また、働き方改革・ライフワークバランスの推進など時代の変化とともに価値観も変わり、いささか人と人との触れ合い、つながりが希薄になっていくようであり、寂しく感じる昨今であります。昭和から平成・令和と時代が流れ、社会環境も大きく変化し順応していかなくてはならないと考えますが、その一方で「極めて理不尽な世界を至極当たり前な世界」としてともに過ごした仲間との出会いに感謝し、これからも当時の同じ話で笑い合える空間を大切にしていきたいと思えます。変化する時代の中で何十年後に令和の時代を振り返った時に、「令和の時代は良い時代だったな」と言える時代になっていることを願うところでありませう。

拙文に最後までお付き合いいただきまして誠にありがとうございました。